

別寒辺牛

ベかんべうし

2010年11月発行
NO.23

ラムサール条約登録湿地 厚岸湖・別寒辺牛湿原 厚岸水鳥観察館だより

オオハクチョウ飛来しました！

例年になく暑かった夏が終わり、水鳥の渡りの季節がやってきました。様々な鳥が別寒辺牛川河口に出入りする中、厚岸町の冬の使者、オオハクチョウが今年も飛来。今年の飛来日は10月13日の24羽でした。約1週間後の21日には863羽を確認。これから冬に向けて、厚岸湖はオオハクチョウの中継地として格好の餌場になります。

(なお、厚岸町ではオオハクチョウを始めとする野鳥への餌付けを禁止しています。ご理解とご協力をお願いします。)



恒例の「オオハクチョウ飛来日当てクイズ」には、厚岸町をはじめ全国から合計295名の応募があり、うち15名が見事10月13日の飛来日を当てました！ 15名の中から抽選の上、当選者3名に商品をお送りする予定です。当選者は抽選が終わり次第、ホームページで発表します。楽しみにお待ちください！

他の鳥たちは？

水鳥観察館前に毎年巣をかけているオジロワシのつがいは、今年は1羽の幼鳥を無事に巣立たせました。秋になり、コガモ、スズガモ、キンクロハジロ、ヒドリガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、オナガガモなどの冬鳥が出そろっています。展望室からの秋の湿原の眺めもいいものです。ぜひ水鳥観察館へ足をお運び下さい。タンチョウ情報は裏へ！

アマモを食べるオナガガモ



タンチョウの幼鳥が無事に育ちました！

別寒辺牛湿原では、町内の別寒辺牛川水系全体で、40つがいくらのタンチョウがなわばりを作って繁殖しています。

水鳥観察館前に巣を作るタンチョウのつがいは、今年は5月18日に1羽のひなをかえました。ふ化してすぐにキタキツネに食べられてしまったり、歩けるようになって移動範囲が広がったところで、またキタキツネにつかまって死んでしまったり、なかなか飛べるようになるまで育つことがなかったのですが、今年はキタキツネにも事故にもあわず、1羽が無事に飛べるまでに育ちました。水鳥観察館前でひなが飛べるまでに育ったのは、観察館が建って以来、15年間でこれで3羽目になります。

今年観察館前で生まれた幼鳥には、「134」の番号をうった金色の脚輪がはめられています。11月下旬から12月始めには、阿寒や鶴居の給餌場へと家族で飛んでいきます。どこで冬を越すか、そしてこれから大人になってどこになわばりを作るかが楽しみです！



あつけし みずどり かんさつ かん
厚岸水鳥観察館

☎088-1140
北海道厚岸郡厚岸町サン又シ6番地
TEL (0153)52-5988 FAX (0153)53-2121
URL: <http://www.marimo.or.jp/AWOC/>